

前金	部分払
有	一回

平成29年度営北第24号
津北工事事務所建築工事

工事場所	津市 西丸之内 地内					
工期	平成30年2月28日まで					
工事概要	新築 鉄骨造2階建 延面積577㎡ ※上記に係る建築工事 一式					
部長	参事	営繕課長	調整・建築営繕担当主幹 検算者	建築営繕担当 照査責任者	担当	設計者
			設備担当 検算者	設備担当 照査責任者	担当	設計者

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築	1	式		
外構	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

建築						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
昇降機設備		1		式		
	計					

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製コンクリート杭	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
鉄骨	鋼材費	1	式		
鉄骨	製作費	1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		

建築					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
タイル	外部	1	式		
タイル	内部	1	式		
計					
木工	内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミ製建具	1	式		
建具	鋼製軽量建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	軽量シャッター	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
建具	ガラス	1	式		

建築		地業		既製コンクリート杭		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既製コンクリート杭 (P1)	上杭: CPRC (I 種) L9.0m 下杭: PHC (A種) L9.0m 杭径: φ 350 杭長計: 18.0m	9	組			
既製コンクリート杭 (P2)	上杭: CPRC (II 種) L9.0m 下杭: PHC (A種) L9.0m 杭径: φ 350 杭長計: 18.0m	1	組			
既製コンクリート杭 (P3)	上杭: CPRC (I 種) L9.0m 下杭: PHC (A種) L9.0m 杭径: φ 450 杭長計: 18.0m	6	組			
杭打工事費	プレローリング系高支持力工法 機械式継手、重機組立解体費、 重機運搬費、副資材費	1	式			
	試験杭費、圧縮強度試験費共					
既製コンクリート杭 杭頭補強	杭径350 7-D19	9	か所			
既製コンクリート杭 杭頭補強	杭径350 7-D22	1	か所			
既製コンクリート杭 杭頭補強	杭径450 10-D19	6	か所			
建設発生土処分費	運搬費共	1	式			
計						

建築		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
異形棒鋼	SD295A D10	2.6	t			
異形棒鋼	SD295A D13	10.8	t			
異形棒鋼	SD295A D16	1.1	t			
異形棒鋼	SD345 D19	1	t			
異形棒鋼	SD345 D22	1.1	t			
異形棒鋼	SD345 D25	5.5	t			
鉄筋加工組立	運搬費共	1	式			
スクラップ 控除		1	式			
鉄筋が ^ス 圧接	D19 -D19	18	か所			
鉄筋が ^ス 圧接	D22 -D22	29	か所			
鉄筋が ^ス 圧接	D25 -D25	129	か所			
溶接金網敷	径6.0 150×150	532	m ²			
溶接金網敷	径2.6 100×100	18	m ²			
計						

建築						
		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材	STKR400 □-100×100×4.5	0.1	t			
鋼材	STKR400 □-150×150×6	0.4	t			
鋼材	BRC295 □-200×200×6	0.5	t			
鋼材	BRC295 □-250×250×6	0.2	t			
鋼材	BRC295 □-250×250×12	5	t			
鋼材	BRC295 □-250×250×16	6.4	t			
鋼材	SN400A H-125×125×6.5×9	0.2	t			
鋼材	SN400A H-150×75×5×7	0.2	t			
鋼材	SN400A H-200×100×5.5×8	0.2	t			
鋼材	SN400A H-250×125×6×9	1.8	t			
鋼材	SN400A H-294×200×8×12	1.9	t			
鋼材	SN400A H-300×150×6.5×9	2.4	t			
鋼材	SN400A H-340×250×9×14	1.1	t			
鋼材	SN400B H-250×125×6×9	0.9	t			
鋼材	SN400B H-294×200×8×12	7.1	t			
鋼材	SN400B H-340×250×9×14	9.5	t			
鋼材	SN400B H-400×200×8×13	0.3	t			
鋼材	SN400A CT-100×200×8×12 40kg程度	1	式			
	SN400A CT-150×150×6.5×9 10kg程度					
鋼材	SS400 L-50×50×6	0.3	t			

建築		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼材	SS400 L-65×65×6	1.4	t			
鋼材	SS400 L-75×75×6	0.4	t			
鋼材	SS400 L-100×100×7	0.5	t			
鋼材	SS400 L-100×100×13	0.3	t			
鋼材	SSC400 C-100×50×20×2.3	0.5	t			
鋼板	SN400A PL-6	0.4	t			
鋼板	SN400A PL-9	0.3	t			
鋼板	SN400A PL-16	1.1	t			
鋼板	SN400B PL-6	0.1	t			
鋼板	SN400B PL-9	1.6	t			
鋼板	SN400B PL-12	2.1	t			
鋼板	SN400B PL-22	0.1	t			
鋼板	SN490C PL-16	0.2	t			
鋼板	SN490C PL-19	0.4	t			
鋼板	SN490C PL-22	0.3	t			
鋼板	SS400 PL-4.5	1	t			
ブレース	SS400 M16 ターンバックル、羽子板共	1	式			
デッキプレート	SS400 QL-99-50-1.2 裏面防錆処理	6.1	t			
デッキ受け	L-100×100×7 材工共	248	か所			
キーストンプレート	山高25×厚さ1.2	0.3	t			

建築						
		鉄骨		鋼材費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
高力ボルト	S10T M20-70	1	式			
高力ボルト	S10T M20-60	1	式			
高力ボルト	S10T M20-55	1	式			
高力ボルト	S10T M20-50	1	式			
高力ボルト	S10T M20-45	1	式			
高力ボルト	S10T M16-50	1	式			
高力ボルト	S10T M16-45	1	式			
高力ボルト	S10T M16-40	1	式			
高力ボルト	S10T M16-35	1	式			
中ボルト	M12	1	式			
アンカーボルト	SNR400A M16 L=500 ダブルナット締め	10	本			
スクラップ 控除		1	式			
計						

建築		鉄骨		製作費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
工場加工組立費	工作図、溶接共	1	式			
現場組立・建方費	溶接共	1	式			
鉄骨運搬費		1	式			
錆止め塗装費	JIS K5674 1種 工場1回 現場1回	1	式			
高力ボルト締付	S10T	1	式			
中ボルト締付		1	式			
デッキプレート敷込費		1	式			
アンカーボルト埋込み	取付手間 B種	1	式			
柱底均しモルタル	200角 A種	1	式			
柱はり接合法	材工共	5	か所			
露出型弾性固定柱脚工法	J200-09 グラウト材、グラウト用型枠、アンカーボルト、ベースプレート、施工費共	2	か所			
露出型弾性固定柱脚工法	J250-16 グラウト材、グラウト用型枠、アンカーボルト、ベースプレート、施工費共	15	か所			
柱・梁耐火被覆	柱 1時間耐火t=20 ガラス繊維混入ケイ酸板 梁 1時間耐火t=25	1	式			
	ロックウール吹付					
超音波探傷試験費	第三者機関	1	式			
計						

建築						
		防水		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シート防水	SI-M2 厚1.5 機械固定工法 断熱材共	231	m ²			
シート防水	SI-M2 厚1.5 機械固定工法 立上り	43	m ²			
シート防水	S-F2 厚2.0 接着工法	15.8	m ²			
シート防水	S-F2 厚2.0 接着工法 立上り	6.3	m ²			
塗膜防水	ウレタン系 X-2 平面	13.3	m ²			
塗膜防水	ウレタン系 X-2 立上り	6.8	m ²			
防水押え金物	シート防水用 アルミ製 L=30×15×2.0 117m程度 塩ビ鋼板製 W=50 46m程度	1	式			
シーリング [※]	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	239	m			
計						

建築						
		屋根及びとい		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<PH屋根>						
折版屋根	山高90程度 カラーガルバニウム鋼板t0.8 無機質断熱材裏張t=5.0共 水切り含む	17.7	m ²			
化粧フレーム	カラーガルバニウム鋼板t0.8	3.3	m			
軒先面戸	カラーガルバニウム鋼板t0.8	3.3	m			
タイフレーム	規格品	9.6	m			
ケラハ ^o 包み	カラーガルバニウム鋼板t0.8	14.3	m			
<ハト小屋屋根>						
平葺き	カラーガルバニウム鋼板t0.4	1	m ²			
水切り	カラーガルバニウム鋼板t0.4	1.6	m			
軒先包み	カラーガルバニウム鋼板t0.4	1.6	m			
ケラハ ^o 包み	カラーガルバニウム鋼板t0.4	1.3	m			
野地板	耐火野地板 t=25 ゴムアシート t=1.0共	1	m ²			
<樋>						
塩ビ角樋	150×150	3.2	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100 SUS製つかみ金物含む	45.1	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径75 SUS製つかみ金物含む	12.2	m			
集水器	塩ビ カラー 角型150用	6	か所			
ルーフトレン	横形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 100A 張掛け幅 100	5	か所			
ルーフトレン	縦形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 80A 張掛け幅 100	3	か所			
計						

建築		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SUS巾木	H=100 HL	5.2	m			
SUS巾木	H=60 HL	37.9	m			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	5.3	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	515	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りなし @300	174	m ²			
軽量鉄骨壁開口補強	65形	1	式			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート含む	322	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	202	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)	1	式			
床見切り	SUS製t=2.0 40×20 HL	8.8	m			
床見切り	SUS製 FB-2 HL	1.1	m			
面台	SUS製t=1.5加工 W=250 HL	1.8	m			
面台	SUS製t=1.5加工 W=160 HL	2.7	m			
面台	SUS製t=1.5加工 W=120 HL	6.6	m			
SUSアングル (シャッター下部)	L-50×50×4 HL	2.9	m			
三方枠	SUSt=1.5加工 110×25 HL W1000×H2000	1	か所			
三方枠	SUSt=1.5加工 110×25 HL W900×H2000	1	か所			
階段滑り止め	ステンレス製 エンド無し 幅35	48.1	m			
ビニル手摺	φ36	21	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	26	か所			

建築						
		左官		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外装厚塗材 E	自然石調装飾仕上げ	500	m ²			
複層塗材 E	ALC ⁺ 祢面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1) 共	1.3	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	121	m ²			
床モルタル塗り	木ごて エッコ ⁺ 下地 厚22	4.5	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	7.2	m ²			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	1.3	m ²			
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	10.2	m			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300	70.5	m			
計						

建築						
		左官		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床モルタル塗り	木ごて エポキシ床下地 厚22	5.6	m ²			
セルフレベリング	セメント系 厚10	175	m ²			
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	13.8	m ²			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	11.8	m ²			
床ラスモルタル塗り	厚40	18.2	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ(0A下地)	205	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	84.5	m ²			
目地入れ	幅10mm	52.4	m			
床防水モルタル塗り	モルタル仕上げ 厚30	4.3	m ²			
幅木モルタル塗り	金ごて 出幅木 高さ150	33.7	m			
マスキング塗装	凹凸処理 ローラー塗り MR-CE	14.2	m ²			
建具周囲モルタル充填	内部建具	12.1	m			
計						

建築		建具		アルミ製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AD-1	W2200×H2660	1	か所			
AD-2	W2200×H2660	1	か所			
AD-3	W900×H2660	1	か所			
AD-4	W800×H2710	2	か所			
AD-5	W830×H2000	1	か所			
AD-6	W1100×H1660	1	か所			
AW-1A	W500×H1660	18	か所			
AW-1B	W500×H1660	6	か所			
AW-1C	W500×H1660 防火設備	1	か所			
AW-2	W1100×H500 ホ゜レータ-装置共	2	か所			
AW-3A	W500×H460 ホ゜レータ-装置共	1	か所			
AW-3B	W500×H500 防火設備 ホ゜レータ-装置共	2	か所			
AW-4	W2300×H460 ホ゜レータ-装置共	1	か所			
AW-5	W3500×H1660	1	か所			
AW-6	W1100×H850 防火設備	1	か所			
AW-7	W500×H1460 防火設備	1	か所			
AW-8	W4100×H1660	1	か所			
AW-9	W2300×H1660	1	か所			
AW-10	W5900×H1660	1	か所			
運搬、取付け		1	式			

建築	建具			トイレブース		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
TB-1	W1680+1680+845×H1900	1	か所			
TB-2	W800×H1900	1	か所			
TB-3	W1860×H1900	1	か所			
TB-4	W2915+1840+840+840×H1900	1	か所			
TB-5	W760×H1500	1	か所			
TB-6	W910×H1900	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
計						

建築		塗装		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
EP塗り	ポーチ面 素地B種 工程B種(見上)	7	m ²			
撥水性吸水防止剤	特殊水性シリコン樹脂カチオン	17.2	m ²			
計						

建築		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
複層ビニル床タイル	厚3 プリントタイプ	70.5	m ²			
ビニル床シート	マブール 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	83.8	m ²			
ビニル床シート	マブール 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	33.5	m ²			
階段ビニル床シート	マブール 厚さ2.5 織布積層ビニル床シートFS	27.1	m ²			
点字ビニル床シート	300角	8	枚			
帯電防止置敷 ビニル床タイル	500角 厚4.0	205	m ²			
ビニル幅木	高さ100	224	m			
ビニル幅木	高さ300	7.1	m			
階段ビニル幅木	ささら 高さ100	31.8	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 — —	753	m ²			
壁 耐水 せっこうボード 張り(GB-S)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り — —	132	m ²			
壁 ビニルクロス貼	量産品	612	m ²			
壁 ビニルクロス貼	不燃材 無機質クロス	45	m ²			
壁 化粧ケイ酸カルシウム板	t6 目透し張 ボード面	132	m ²			
屋根裏 断熱材吹付	ロックウール吹付t10	1	式			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	凹凸内部用 厚12 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	26.3	m ²			
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚 9 不燃 下張GB-NC 厚 9.5共	295	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン 突付け	202	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	431	m			
計						

建築		ユニット及びその他			外部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
S-1 館名サイン	SUS箱文字 7文字 250×250 D=10 HL	1	か所			
消火器	ABC10型	2	か所			
消火器	ABC10型 ボックス共	2	か所			
<K-4 足洗い>	L1200×W660					
補強コンクリートブロック 帳壁	空洞ブロック 8 厚さ100mm 内 壁	1.2	m ²			
壁防水モルタル塗り	モルタル仕上げ 既製コンクリート面 金ごて - 厚15	1.4	m ²			
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	0.5	m ²			
コンクリート舗装	歩道C-7-10 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生クラッシュレン	0.5	m ²			
集水桝	300角 クレチンク 共	1	か所			
面台	SUSt=1.5加工 W=120	1.5	m			
計						

建築		ユニット及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
OAフロア	再生PP樹脂(3000N) H=50	205	m ²			
K-1	手洗いカウンター W860×D600×H720	1	か所			
K-1	手洗いカウンター W780×D600×H720	1	か所			
K-1	手洗いカウンター W985×D600×H720	1	か所			
K-2	手洗いカウンター W1600×D600×H720	1	か所			
K-3	SUS製流し台 HL W1500×D750×H800 面台含む	1	か所			
K-5	カウンター W1574×D810×H760	1	か所			
K-6	カウンター W3816×D810×H960・750	1	か所			
移動書架	W2030×L4810×H2305 レール、下部転落防止金具等共	1	式			
ミニキッチン	W1200 タイプ 200V 1口IHヒーター 化粧幕板共	2	台			
掲示板	枠アルミ製 塩ビ発泡シート張り 900×1500	1	か所			
ベネシアンプラント	スラット幅25 横型コード式 アルミ製 1700×550	18	か所			
ベネシアンプラント	スラット幅25 横型コード式 アルミ製 1700×2300	1	か所			
ベネシアンプラント	スラット幅25 横型コード式 アルミ製 1700×1920	3	か所			
ベネシアンプラント	スラット幅25 横型コード式 アルミ製 1700×2020	2	か所			
S-2 吊下げ室名サイン	230×600	2	か所			
S-3 室名札	平付 アクリル t3 250×80	12	か所			
S-4 室名札	平付 アクリル t5 200×200 絵文字	5	か所			
S-5 カッティングシートサイン	280×30 9文字	5	か所			
S-6 危険物標識	鉄製 600×300	3	か所			

建築						
昇降機設備			昇降機			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
エレベーター	用途：乗用 積載質量：600kg(定員9名) 速度：45m/min	1	式			
	停止箇所：正面2停止 制御方式：可変電圧可変周波数制御 操作方式：乗合全自動方式					
	乗場戸：鋼板塗装仕上げ(1-2階) 申請手続き共					
計						

外構					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
外構	撤去	1	式		
外構	舗装	1	式		
外構	囲障	1	式		
外構	排水	1	式		
外構	付帯構造	1	式		
外構	植栽	1	式		
外構	その他	1	式		
外構	発生材処分	1	式		
計					

外構		外構			舗装	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クランチャー 500-1000㎡未満	638	㎡			
コンクリート舗装	車道C-15-15(溶接金網共) 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生クランチャー	28.4	㎡			
コンクリート縁石	150/170 x 200 x 600 碎石、捨コン、モルタル共	7.6	m			
駐車区画ライン引き	W=150 実線	169	m			
駐車区画ライン引き	W=150 車椅子利用者マーク	1	か所			
駐車区画ライン引き	W=150 文字 (公用車)	1	か所			
コンクリート車止め	W600×D180×H120 反射レンズ付き	25	個			
計						

外構		外構		付帯構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
<CB積み擁壁>						
根切り	小規模土工 -	10.2	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	10.2	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	4.5	m ²			
砂利地業	再生切込碎石	3.5	m ³			
捨てコンクリート	Fc=18 SL-18	0.3	m ³			
工作物コンクリート	Fc=18 SL-18	2.4	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、団障の基礎等 - -	16.5	m ²			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D10	0.1	t			
鉄筋加工組立	運搬費共	1	式			
補強コンクリートブロック擁壁	空洞ブロック16 厚さ100mm 既存RC擁壁天端処理共	7.8	m			
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300	7.8	m			
あと施工アンカー	D10 L=540 補強コンクリートブロック擁壁補強用	1	式			
<RC土留め>						
根切り	小規模土工 -	15.6	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	15.6	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	9.6	m ²			
砂利地業	再生切込碎石	1.2	m ³			

外構		外構		付帯構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
捨てコンクリート	Fc=18 SL-18	0.5	m ³			
工作物コンクリート	Fc=18 SL-18	3.6	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	7.2	m ²			
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 - -	26.4	m ²			
型枠運搬費		1	式			
異形棒鋼	SD295A D10	0.1	t			
異形棒鋼	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋加工組立	運搬費共	1	式			
笠木天端コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 幅300	12	m			
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	7.2	m ²			
計						

外構		外構		その他		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
バリカー	チェーン内蔵式	3	か所			
鋼製グレーチング	U-240用 細目	5.7	m			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(CM-2)共	48.9	m ²			
<自転車置き場>						
サイクルポート	アルミ製 W2940×D2100×H2260	1	か所			
根切り	つぼ, 布掘り	3.2	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	2.1	m ²			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	1.8	m ³			
砂利地業	再生切込砕石	0.3	m ³			
異形棒鋼	SD295A D10	0.1	t			
鉄筋加工組立	運搬費共	1	式			
基礎コンクリート	Fc=24 SL-18	1.1	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 2.4m ² 程度 運搬費共	1	式			
計						

特記仕様書

【部分下請負通知書に関する事項】

受注者は、工事の一部について下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に提出すること。なお、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付すること。

【現場の管理に関する事項】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、氏名、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させること。

なお、作業者についても受注者名が分かるよう配慮すること。

<名札の例>

写 真 2cm×3cm 程度	主任・監理技術者
	氏 名 ○○ ○○
	工事名 ○○○○○工事
	工 期 自○○年○○月○○日 至○○年○○月○○日
	会 社 ○○○株式会社 印

注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注2) 印は所属会社の社印とする。

【安全対策に関する事項】

工事期間中の運搬車両及び重機等による騒音振動等については、周辺地域に及ぼす影響を最小限に食い止めると共に安全対策を講じること。また、施工に伴う公衆災害及び労働災害の防止に努めること。

なお、大型車両が出入りするとき、または、工事関係車両の出入りが頻繁になるときは、誘導員を配置して事故防止に努めること。

【分離発注での安全対策追記】

本工事は他の工事と重複することから、安全対策や工程などの調整を図ることを目的とする安全対策協議会などを設置し、また設置されている場合は、これに積極的に参加し、安全対策をはじめ施工時期の調整など密接な調整を図り、各工事と協調をもって施工すること。

【前払い金に関する事項】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、請負代金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いをするものとする。

【三重県産業廃棄物税に関する事項】

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。

なお、この期間を越えて請求することはできない。また、設計数量を越えて請求することはできない。

【工事实績情報の登録に関する事項】

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたい。受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

【分離発注に関する事項】

本工事に係る機械設備工事および電気設備工事は分離発注となるため、各工事の受注者は相互に協力し工事全体の円滑な運営をはかること。

【火災保険に関する事項】

津市工事請負契約約款第53条に定める火災保険を次の条件により付し、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく津市（建設部営繕課）に提示すること。

- | | | |
|--------|----------|-------------|
| 1 保険期間 | 開始日 | 工事着手日 |
| | 終了日 | 工期に15日を加えた日 |
| 2 保険金額 | 請負代金額相当額 | |

【現場パトロールに関する事項】

本工事は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において工事中の施工状況の確認等を行う現場パトロールの対象となります。

【施工体制台帳】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請負金額に関わらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。

【完成報告書】

工事完成報告書の提出部数は3部とする。

【木材の調達目標】

本工事における木材の使用に当たっては、原則として地域産材（注1）を優先し、調達できない場合は県産材（注2）を使用するものとする。

なお、県産材については「三重の木」認証材を優先して使用するものとする。

注1 「地域産材」とは、津市内の森林から産出された木材で製材業者、津地区木材共同組合、津西部木材流通共同組合及び美杉木材共同組合の産地証明のあるものをいう。

また、集成材にあっても、構成する材は「地域産材」を優先使用したものであることとする。

注2 「県産材」とは、三重県内の森林から産出された木材とし、「三重の木」とは、三重県産の丸太を使用し、一定の基準に適合することを「三重の木」利用推進協議会により認証された木材製品をいう。

【再生砕石（RC-40）の使用についての留意事項】

再生砕石を納入の都度、監督員に納品伝票（写し）を提出すること。

再生砕石の使用にあたっては、監督員に確認を受けた再生砕石以外の再生砕石等が混入しない対策や、施工前に異常（異物の混入、軽いなど）を発見した場合は、使用しないなどの品質管理に努めること。

基礎ぐい工事に関する特記仕様書

1 全般

既製杭工については、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書によるものとする。
なお、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書は、他の特記仕様書より優先するものとする。

2 適用すべき諸基準

受注者は、下記の基準を適用する。
国土交通省告示第四百六十八号 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置（平成28年3月4日）

3 施工計画書、施工記録

受注者は、既製杭の施工前に「基礎杭施工計画書」を監督員に提出しなければならない。施工計画書には以下の項目について詳細に記載し、施工にあたりその内容を実際に履行するとともに、杭全数の施工記録を整備および保管しなければならない。

- (1) 納入する杭、その他使用する材料の規格・品質確認の方法
- (2) 材料の現地搬入時における規格・品質・納入数量の確認方法
- (3) 工法の名称、概要、使用材料、適合条件、杭の支持力算定式を示した関連書類
- (4) 地盤の概要や設計支持力に関する事項
- (5) 施工の概要、手順、及び施工順序に関する事項
- (6) 使用する機械設備に関する事項、および当該機械の性能の証明に関する事項
- (7) 機械設備等の配置平面図、側面図
- (8) 各種注入材料の品質、名称、配合量等の配合計画に関する事項、および出典根拠
- (9) 各種注入液の配合設備及び練混ぜ方法に関する事項
- (10) 試験杭等の目的、場所、時期、及び試験結果の反映方法等に関する事項
- (11) 杭打設における施工管理方法に関する事項
掘削速度や引上げ速度、杭芯ずれ、鉛直度、杭体の保持、杭頭高さ（打止め高さ）、所定深度への到達、球根拡大、杭1本ごとの各種注入液（根固め液、杭周固定液）の注入量の確認方法（流量計等）、杭の沈設、支持層管理（オーガ駆動）電流値の確認方法、その他、各段階における必要な施工管理項目
- (12) 継手の施工管理方法に関する事項
溶接前の溶接面の有害物除去状況、溶接時の天候、その他必要な施工管理項目
- (13) 各種注入液（根固め液、杭周固定液）の配合や圧縮強度試験等、品質を証明するために必要な試験方法及び頻度等に関する事項
- (14) 施工及び施工管理に関して、技術者及びその他作業人員の配置、役割、チェック体制及び責任の所在
- (15) 取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法
- (16) 上記のほか必要な事項

※（8）、（9）、（11）から（13）の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

4 不可視部の写真撮影

杭の施工にあたっては、不可視部の確認ができるよう写真管理を適切に行うこと。
近景、遠景共に、杭やビット、溶接箇所、黒板等に杭番号、その他必要な情報を入れて撮影すること。

5 試験杭

試験杭は、以下のことについて調査・確認を行うこと。

- (1) 地盤に適合した杭長の確認
- (2) 支持層の位置（深度）と土質標本との確認
- (3) 適切な施工機械の確認
- (4) 施工時間の調査による工程の確認
- (5) 各種注入液の適否の調査
- (6) 溶接継ぎ手のパス数や外観検査
- (7) 各作業項目における電流値の変化、土質データとの電流値の相関関係
- (8) 杭の沈設精度の管理方法

※ (5) から (8) の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

6 支持層への到達確認

受注者は、杭全数について支持層への到達を確認すること。なお、確認にあたっては、ボーリングデータ等の土質調査資料、試験杭における各土質とオーガ掘削時の電流値の比較、隣接する施工済み杭の施工記録等により総合的に判断する。

支持層到達の判断が困難となった場合は、監督員と協議すること。

7 施工記録の提出

受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

8 根拠資料の保管

共通仕様書、特記仕様書、及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（野帳、手簿、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第31条第4項又は第5項（第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

暴力団等の不当介入の排除等に関する特記仕様書

1 趣旨

この特記仕様は、本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定めるものとする。

2 用語

この特記仕様における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成21年津市訓第34号）において使用する用語の例による。

3 受注者等の義務

- (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。
- (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。
- (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。
- (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに、所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。
なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。

4 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置

入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成21年4月8日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。

また、上記3の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。

5 契約等の解除

上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。

ワンデーレスポンス実施に関する特記仕様書

1. この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

配慮依頼事項

受注者においては、この契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮いただくようお願いします。

なお、当該配慮依頼事項は、発注者である津市が受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が津市のお願いに応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。

記

- 1 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮してください。
- 2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することについても配慮してください。
- 3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮してください。
- 4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用することに配慮してください。